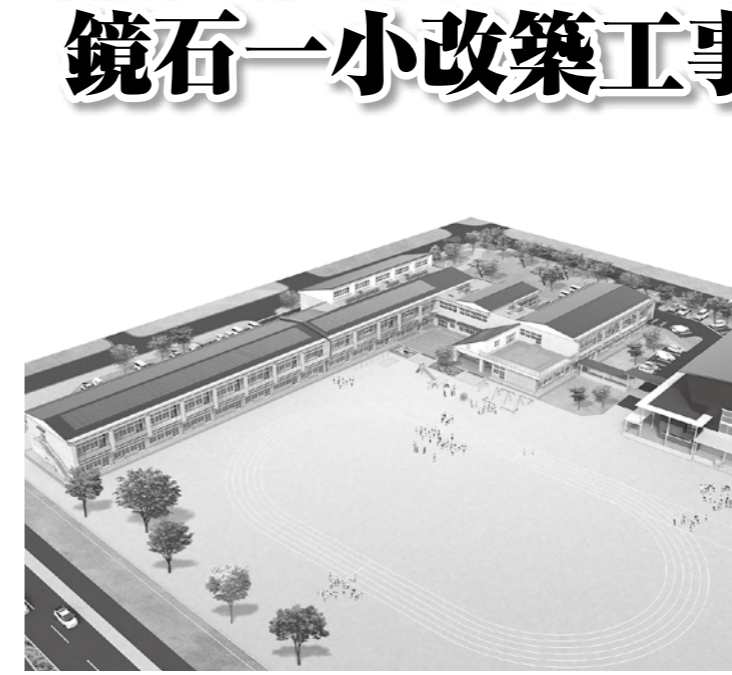


# 鏡石一小改築工事請負契約など 21件を議決

町議会12月定例会



▲鏡石一小完成イメージ図

第6回町議会定例会が12月10日(月)から12月14日(金)までの5日間の日程で開催され、提出された21議案すべてが原案のとおり議決されました。ここでは、今回の議会で審議された主な内容をお伝えします。

## ◆鏡石一小校舎改築工事請負契約の締結

鏡石町立第一小学校校舎改築工事請負契約の締結について、12月5日に入札が執行さ

れ請負業者等が次の通り決定しました。

- 契約の相手方  
福島県郡山市方八町1丁目1番30号  
仙建工業株式会社郡山営業所  
所長 菊地 昌弘
- 契約の金額  
15億5,295万円

## ◆一般会計に3億4,434万円を補正

一般会計補正予算では、3億4,434万円が増額されました。これにより、一般会計補正予算の合計は、84億2,790万円となりました。

主な補正予算の内容は、東日本大震災復興交付金の配分による東日本大震災復興基金への積立金などです。

## ◆その他の主な提出議案

- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 鏡石町暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 駅中央線外道路災害復旧工事変更請負契約の締結について



町長説明要旨

師走に入り、東日本大震災の発生から1年9か月となり、町といたしましても、復旧・復興に全力で取り組み、町民の皆さんとともに輝かしい平成25年を迎え、元気を生み出していくような町づくりを行ってまいりたいと考えております。

復興交付金事業については、3区コミュニティセンター建設事業に次いで、10月申請をした岡ノ内地内の造成宅地活動崩落緊急対策事業及び、災害公営住宅関連児童ふれあい施設整備事業の交付可能額通知が国より届きました。今後は、これらの事業を早期に、具体的に推進していきたいと考えております。

10月28日には田んぼアート事業の「福刈り祭り」が町内外から約70名の参加のもと開催

され、作業の後には、豚汁と「牧場のしずく」のおにぎりが振る舞われました。今年的一般観覧者は最終的に5,613人となり、半数が町外からの観覧者という結果となりました。

公共土木災害復旧事業につきましては、83件中35件が完了し、工事施工中が30件、未発注が18件となっております。また、今後、計画的に発注していく予定としております。また、単独事業については、補助対象工事と関連することから調整を図りながら順次発注してまいりたいと考えております。

原発事故対策としての、除染対策につきましては、町民の皆さんの不安を解消し、一日も早く、安心安全な町民生活を取り戻すため、放射線量の低減化を目指し、一般住宅や公共施設について業務発注に向けた準備を進めております。仮置き場につきましては、仁井田地区の建設予定地が決定し、造成のための測量・設計業務を発注したところで、その後造成工事を発注する予定であります。

# 東京かがみいし会



東京かがみいし会(佐藤輝雄会長)の総会・懇親会が、11月17日(土)、東京都千代田区のスクワール麹町で約80名の出席のもと、盛大に開催されました。



▲恩師(写真中央前列)と共に鏡石中学校歌を熱唱

ふるさとの鏡石町からは遠藤町長や町議会議員、長田町商工会長などをはじめ町関係者が参加しました。総会にあとたり佐藤輝雄会長がいさつ

し、遠藤町長と円谷副議長からそれぞれ祝辞が述べられました。町からはお土産品として参加者全員にお米(牧場のしずく)、牧場のしずくで作られた日本酒「鏡の雫」やりんごなど、たくさんのお土産品が贈られました。

議事では事業報告、決算報告、事業計画、収支予算、役員改選が審議され全て原案のとおり承認されました。

総会終了後に行われた懇親会では、鏡石出身の母親を持つ、東京かがみいし会の会員でもある藤島昭先生と齋藤(旧姓・天生目)斐子先生がご来賓として出席され、出席者全員での鏡石中学校校歌の合唱などで大いに盛り上がりしました。

参加者はお互いの近況を話し合ったりふるさとの懐かしい思い出話で盛り上がるなど、1年ぶりの再会を楽しんでいました。

## 町消防団長に 小林勇雄さん就任

小林さんは、昭和49年に消防団に入団、昭和57年に第3分団の分団長となり、昭和58年に一度退団しましたが、平成4年に再入団し、これまで訓練部長、副団長を歴任されました。

小林さんの任期は、平成28年11月30日までの4年間となっております。

なお、前団長の大河原正雄さんは、団長として8年間、町の消防団活動に尽力されました。昭和46年の入団以来長い間、大変お疲れ様でした。



▲町長から辞令を受ける小林勇雄さん

## 就任のあいさつ

この度、長い歴史と伝統を誇る鏡石町消防団の団長に任命され、消防団の任務がますます重要さを増す中、その職責の重大さを痛感するものがあります。

さて、平成23年に発生した東日本大震災をはじめ近年の災害は、環境や社会情勢の変化により、大規模化、複雑多様化しております。それらの



災害に対応するため、日頃から訓練と教養を重ね、更には、団員相互の結束を図り、町民の安心安全を守るため活動して参りますので、何卒、ご理解ご協力をお願いいたします。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、就任のご挨拶いたします。

## 退任のあいさつ

昭和46年1月に入団し、昭和53年1月に第2分団長を歴任後、一度退団しましたが、昭和63年12月に本部訓練部長として再入団しました。退団するまでの32年間に渡り、消防団活動を務めることができましたのも、ひとえに消防関係の皆様、そして、町民の皆様のご指導とご協力のお蔭と感謝申し上げます。

昨今の社会情勢の変化によ



り団員を取り巻く環境は大変厳しい状況であります。しかしながら、自らの町は自らで守るという郷土愛護の精神に基づき活動する消防団へのご理解ご協力をお願いいたします。

終わりに、町消防団の今後益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。